

●特徴的な取組み

(1) 歴史的価値の高い平木橋の保存

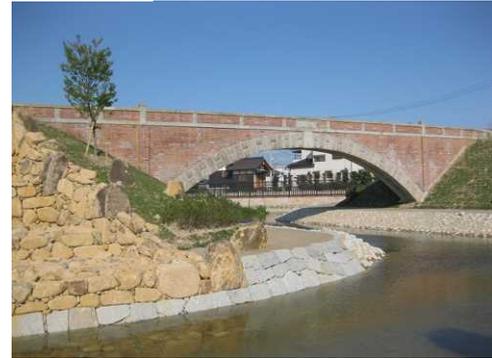
- ① 工事で支障となった土木学会選奨土木遺産「平木橋」※1 を移設保存。
- ② 「平木橋保存検討委員会」を立ち上げ、移設場所、解体構築工法等を決定した。

※1 平木橋は大正4年に山田川疏水事業の一部として建設された水路橋で、石と煉瓦を組み合わせたアーチ橋は希少価値があり、また花崗岩の白と煉瓦の赤が華やかな美しさを表現している。
(土木学会選奨土木遺産に選定：H22年1月29日、加古川市指定文化財に指定：H22年3月5日)

【移設前】



【移設後】



現位置から約1km西に位置する「前の池」に移設を実施

(2) 積極的な事業 PR

- ① 地元小学生や建設業関係者などを対象に工事中の現場見学会を実施。
- ② 開通前に開通記念ウォーキングを実施。開通記念ウォーキングには約2千人が参加し、加古川中央JCT～神野ランプ間（往復約5km）のウォーキングを楽しんだ。
- ③ 東播磨道の開通式典を実施し、開通パレードを行いました。



【開通式典】(H26.3.23)



【開通記念ウォーキング】(H26.3.23)

加古川中央JCT～神野Rの往復

歩く距離約5km

スタート時間 午前9時

新しい道路でうらかな春の日差しを感じながら自由にウォーキングをお楽しみください。

申込方法
パソコンもしくは携帯電話にて、下記URLからお申込みください。

記載事項
氏名・年齢・住所・電話番号
※記載した個人情報は当イベントのみ使用します。

参加人数
先着2,000人(うち1,000人は加古川市民の特典枠)
※1人のお申込で最大3名(本人含む)まで申込できます。
※小学以下の方は必ず保護者の方とご参加下さい。

参加期間
平成26年2月5日(水)9:00～2月28日(金)17:00
定員になりしだい締め切ります。

URL
PC・スマホ用
<http://higashiharimadou-event.net>
スマホ以外の携帯電話用
<http://higashiharimadou-event.net/m/>

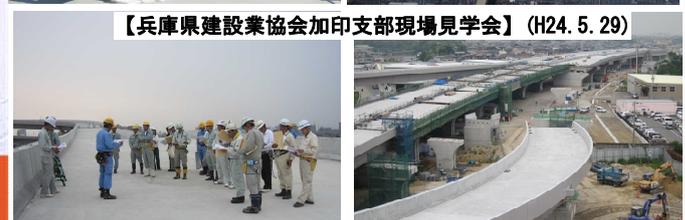
- 参加についてのご注意
- 1 参加人数のすくれない方は参加をご遠慮ください。
 - 2 道の状況、気象条件等により参加人数を調整させていただきます。
 - 3 スタートには各自準備運動を行ってください。
 - 4 雨天時は参加は不可となります。
 - 5 天候等により、中止になる場合があります。
 - 6 自身の指示を必ず守り危険な行動を一切しないでください。
 - 7 参加者のけがや物にあたるた被害等については、一切の責任を負いません。
 - 8 コース中は携帯電話の使用を控えてください。
 - 9 お手洗いは必ず参加開始前にお済ませください。
 - 10 体の不自由な方は、合流される方と一緒に参加ください。

お問い合わせ
東播磨道開通記念ウォーク事務局
神戸市長瀬区大鷲町1-1-1 興ディスプレイミックス内
TEL.078-843-8807

【地元小学校現場見学会】(H24.11.21)



【兵庫県建設業協会加印支部現場見学会】(H24.5.29)



(3) ナゴヤダルマガエルに配慮した側溝を設置

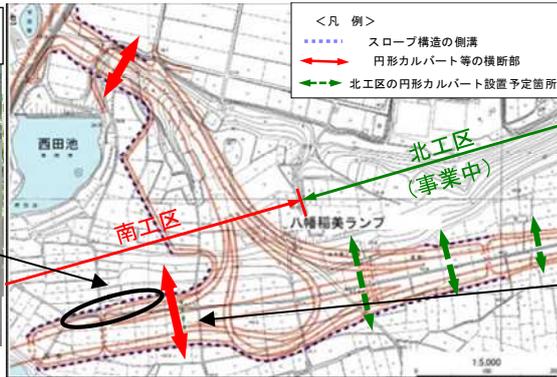
- ①八幡稲美ランプ周辺に絶滅危惧種のナゴヤダルマガエル※が生息。
- ②ナゴヤダルマガエルの生息に配慮したスロープ構造の側溝の設置、生息環境を分断しないよう横断水路の設置による環境保全措置を実施。

【ナゴヤダルマガエル】



※環境庁レッドリスト(環境省カテゴリー絶滅危惧 IB類)、兵庫県レッドデータブック(Aランク)に掲載されており、「ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの」と取り扱われている。

ナゴヤダルマガエルが転落した際の這い出しに配慮した片側がスロープ構造の側溝



ナゴヤダルマガエルの生息環境を分断しないよう円形カルバートを設置



(4) 高架下の有効利用

- ①高架下の道路空間の有効活用を図るため、広く一般から占有者を募集。(H26. 10～)
- ②高架下は、民間の駐車場、地域コミュニケーションのためのレクリエーション施設などに利用されており、沿道のまちづくり、地域振興にも寄与している。

名称	面積(m2)	利用目的
パブリックスペース	14,683	公園広場(ゲートボール場、農業交流広場等)
多目的スペース	21,466	駐車場等
道路管理者スペース	1,500	非常階段、資材置場等



②多目的スペース(駐車場)



③多目的スペース(駐車場)



①パブリックスペース(ゲートボール場)



●事業概要等の変遷

【平成 19 年度（再評価）】

総事業費 C=656 億円（内県事業費 539 億円）

事業期間 H10～H25

計画延長 L=6.0km（自専道区間：5.2km 一般道区間：0.8km）
L=3.3km（側道区間）

計画幅員

自専道区間 W=14.0(18.7～19.0)m 4車線
W=7.0(12.7～13.5)m 暫定2車線

側道 W=3.25(11.25)m×2（両側）

【平成 24 年度（再々評価）】

総事業費 C=690 億円（内県事業費 569 億円）

事業期間 H10～H25

計画延長 L=6.0km（自専道区間：5.2km 一般道区間：0.8km）
L=3.3km（側道区間）

計画幅員

自専道区間 W=14.0(18.7～19.0)m 4車線
W=7.0(12.7～13.5)m 暫定2車線

側道 W=3.25(11.25)m×2（両側）

【平成 25 年度（事業完了）】

総事業費 C=690 億円（内県事業費 569 億円）

事業期間 H10～H25

計画延長 L=6.0km（自専道区間：5.2km 一般道区間：0.8km）
L=3.3km（側道区間）

計画幅員

自専道区間 W=14.0(18.7～19.0)m 4車線
W=7.0(12.7～13.5)m 暫定2車線

側道 W=3.25(11.25)m×2（両側）

（事業費増加の主な理由）

- ・鋼材価格の高騰による橋梁工事費の増加、走行性等を配慮した排水性舗装の実施、県立加古川医療センターランプの北向きを追加したこと等により、総事業費が約30億円増額となった。